



Think Automation and beyond...

IDEC株式会社 会社説明資料

2026年3月8日（日） ログミーIR Meet
証券コード：6652【東証プライム】



2025年11月 創業80周年

- 会社名 : IDEC株式会社
- 代表者 : 代表取締役会長兼社長 舩木俊之
- 創業 : 1945年
- 所在地 : 大阪市淀川区西宮原2-6-64
- 資本金 : 100億円
- 社員数（連結） : 2,937名（2025年3月末時点）
- 上場取引所 : 東京証券取引所 プライム市場



TBS系列の「SASUKE」に出演している サスケくんこと森本裕介は、IDECのエンジニア



社内にあるジムでのトレーニング風景

人と機械をつなぐ HMI（Human-Machine Interface）分野の グローバルリーディングカンパニー

売上高

674 億円

(2024年度)

2027年度計画：**770**億円

海外売上高比率

64 %

(2024年度)

営業利益率

5.4 %

(2024年度)

2027年度計画：**13**%

配当利回り

5.3 %

(2024年度)

年間配当計画：**130**円

産業用スイッチ
国内シェア

No.1

創業

80 周年

事業を展開している
国・地域

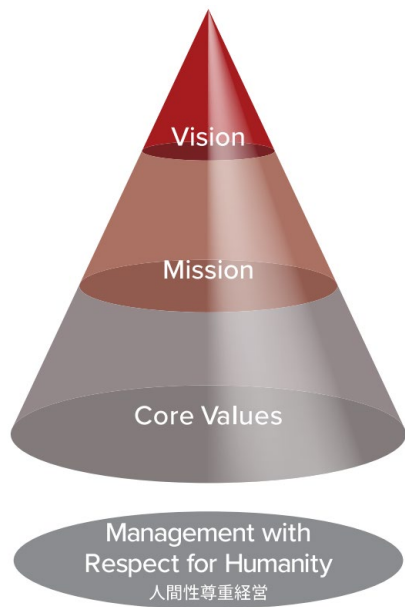
16

海外社員比率

70 %

【パーパス（存在意義）】

人と機械の最適環境を創造し、世界中の人々の安全・安心・ウェルビーイングを実現する



【The IDEC Way】

Vision ————— 私たちが目指す未来

Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.

いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

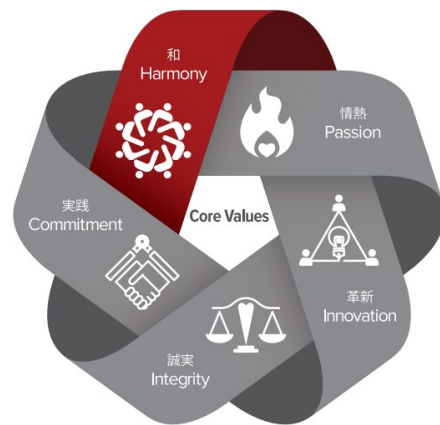
Mission ————— 私たちの使命

To create the optimum environment for humans and machines.

人と機械の最適環境を創造

Core Values ————— 私たちが共有すべき価値観

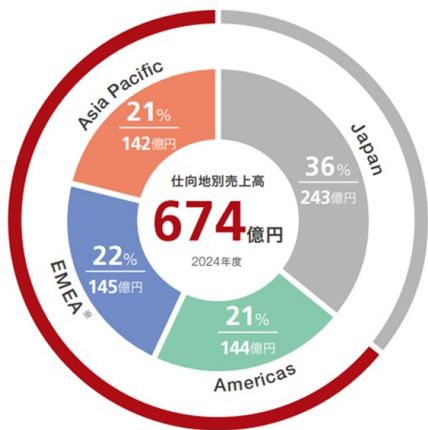
Core Values



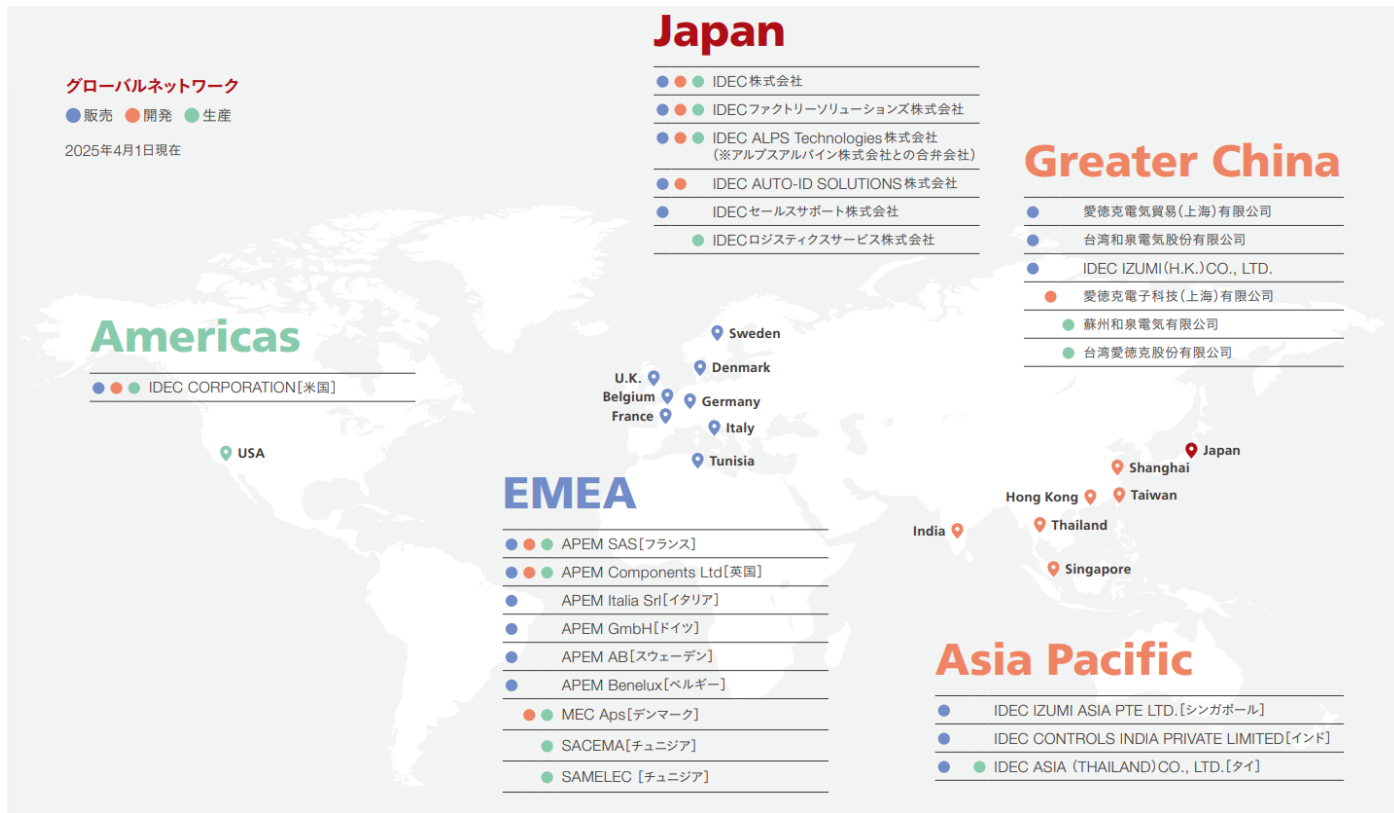
グローバル化の推進

海外売上高比率 事業を展開している国・地域

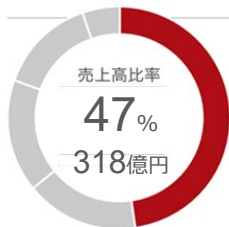
64% 16



※EMEA: 欧州・中東・アフリカ



HMI 事業 (Human-Machine Interface)

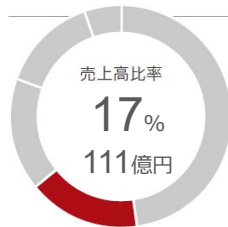


制御用操作スイッチ



プログラマブル表示器

安全・防爆事業



非常停止用
押ボタンスイッチ



セーフティ
レーザスキャナ

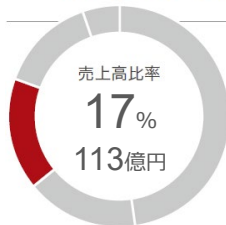


非常停止アシストシステム



防撞無縁衝動センサ

インダストリアルコンポーネンツ事業



制御用リレー



端子台

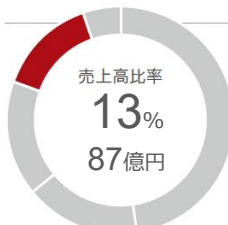


スイッチングパワーサプライ



LED 照明

オートメーション&センシング事業



クラウドデータロガー



センサ

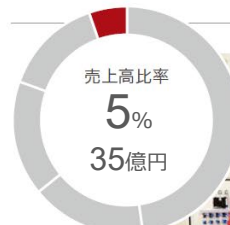


プログラマブル
ロジックコントローラ



ez-Wheel 製品

システム事業



オフィスビル



プログラマブル
表示器



タイマ

公共交通機関



非常停止用
押ボタンスイッチ



エッジスイッチ



LED照明

工場内設備・生産ラインの各種機械装置



制御用操作
スイッチ



積層
表示灯



安全
スイッチ



セーフティ
コマンド

石油・化学プラント



防爆無線振動センサ



防爆小形光電センサ

特殊車両



小形スイッチ



ロッカースイッチ



ジョイスティック

物流倉庫



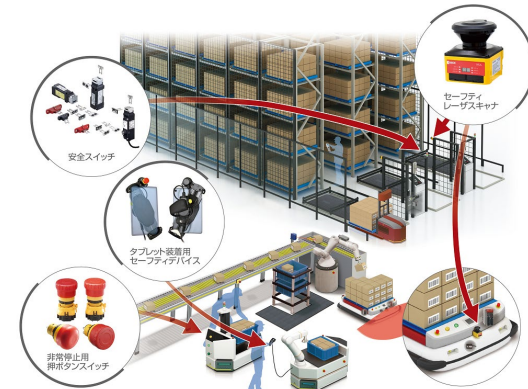
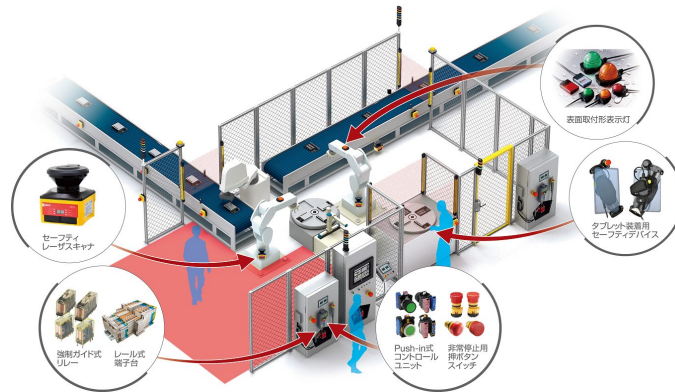
AMR
(自律走行搬送ロボット)



センシング機器

工場の生産ライン・物流倉庫での自動化や、 機器の制御を実現する製品やソリューション

- 自動車や電子機器などの生産ラインを制御するための**制御盤や安全装置**として搭載されていたり、近年需要が拡大している**物流の制御**や、**自律走行搬送ロボットの安全装置**としても活躍



装置自体を制御する製品群

- 幅広い製品群をラインアップしているため、さまざまな装置にも組み込まれており、**ものづくり現場の自動化・効率化、働く人々の安全・安心・ウェルビーイング**を実現

【半導体製造装置】



【工作機械】





- 人はミスを犯すもの・機械は故障するものという前提で、不測の事態でも「**人の命を守る**」ことができる製品を開発
- 制御機器の幅広い製品群をラインアップし、さまざまな業界・顧客向けに販売
- 用途に応じた数万機種種のラインアップが必要とされ、各国の規格や、**品質・安全への要求も高いため参入障壁が高い**
- 幅広い製品群を活かし、顧客ニーズに合わせた**ソリューション展開にも注力**

■ 豊富な製品ラインナップ、高い安全性、品質・信頼性

国内・グローバルシェア

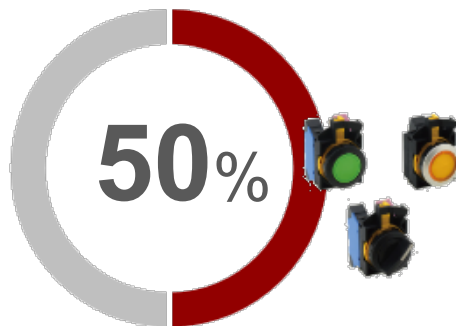
No.1



インバータスイッチ

国内シェア

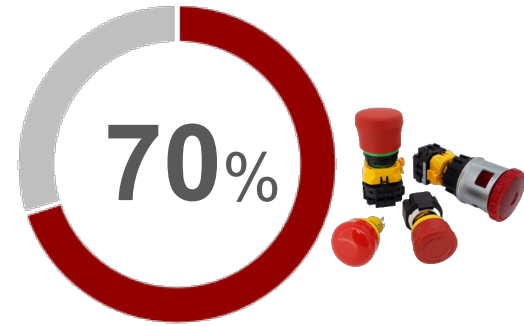
No.1



制御用操作スイッチ

国内シェア

No.1

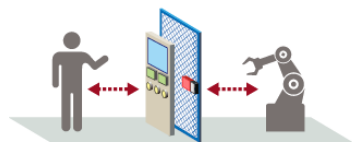


非常停止用押ボタンスイッチ

2024年度実績（自社調べ）

HMI-X [Transformation]

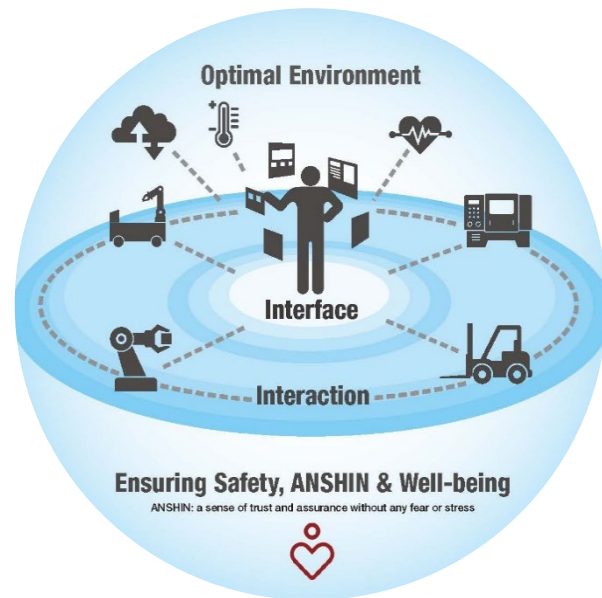
- 人と機械の関係の変化に伴い、**最適なインターフェースの在り方が変化していくこと**を、「HMI-X」と定義
- これまで培ってきた、**HMI・安全を融合した製品・サービス**を社会へ提供することで「HMI-X」をリード



人と機械が隔離された環境での制御

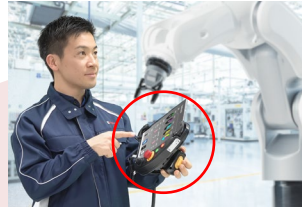


人と機械が協働する環境での制御



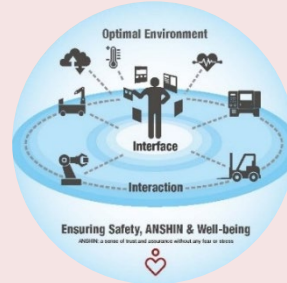


- 権限管理や入室制限などを可能にする、**RFIDリーダー**

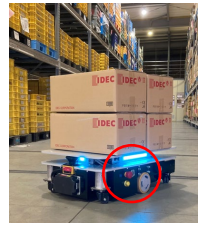


- 市販のタブレットに、安全機器を簡単に装着できる、**セーフティコマンド**

HMI-X [Transformation]



- 既存のセンサでは正確に検出できなかった対象物を検知する、**ミリ波レーダセンサ**



- 離れた場所から非常停止用押ボタンスイッチを無線で操作する、**非常停止アシストシステム**



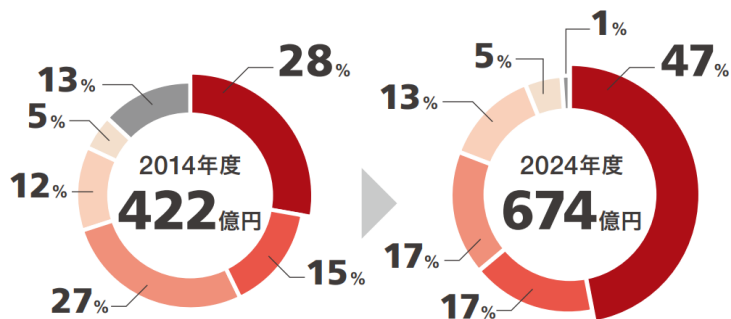
- AGV・AMRなどに搭載される、**安全自律走行ホイール**

■ フランスのスイッチメーカー・APEM社の買収後、**収益性の高いHMIの構成比が向上**

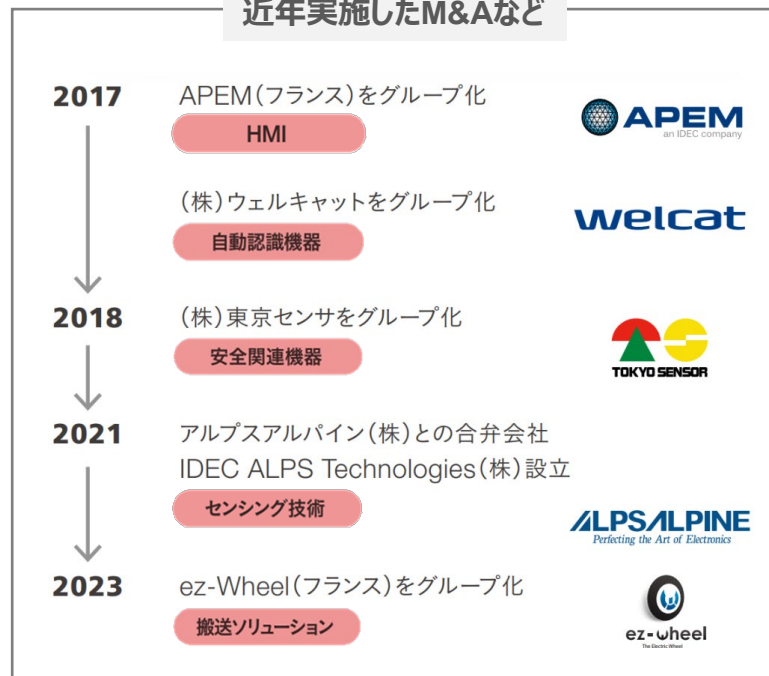
■ 安全事業や、センシング事業に加え、ソリューション販売の強化も推進

事業ポートフォリオの変化

■ HMI ■ 安全・防爆 ■ インダストリアルコンポーネンツ
 ■ オートメーション&センシング ■ システム ■ その他



近年実施したM&Aなど



- **8つの注力業界**を中心に、多様な業界向けにグローバルで売上を拡大
- コンポーネント販売だけでなく、積極的な**ソリューション提案**により競争力を強化



新生IDEC として**顧客志向・高収益**を実現する企業に生まれ変わる！

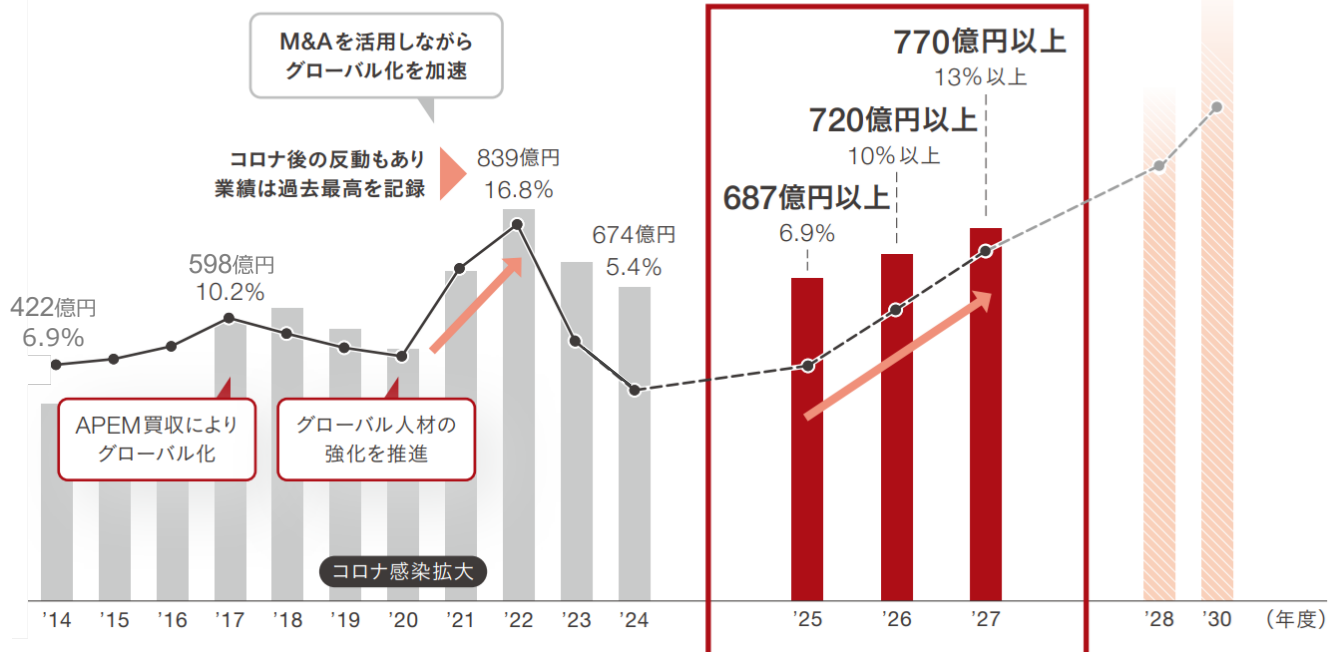
顧客中心のビジネス構造	<ul style="list-style-type: none">顧客ニーズに対応するグローバル体制顧客課題を解決するソリューション事業拡大
One IDECの実現	<ul style="list-style-type: none">事業と拠点のグローバル最適化デジタルを活用した顧客満足と効率化を両立するSCMの確立One IDECを支える体制整備
2027年度（目標）	売上高 770 億円以上 営業利益率 13 %以上 ROIC 7 %以上

中期経営計画

顧客ニーズ対応力を強化し、
高収益体質のグローバル企業へ変革

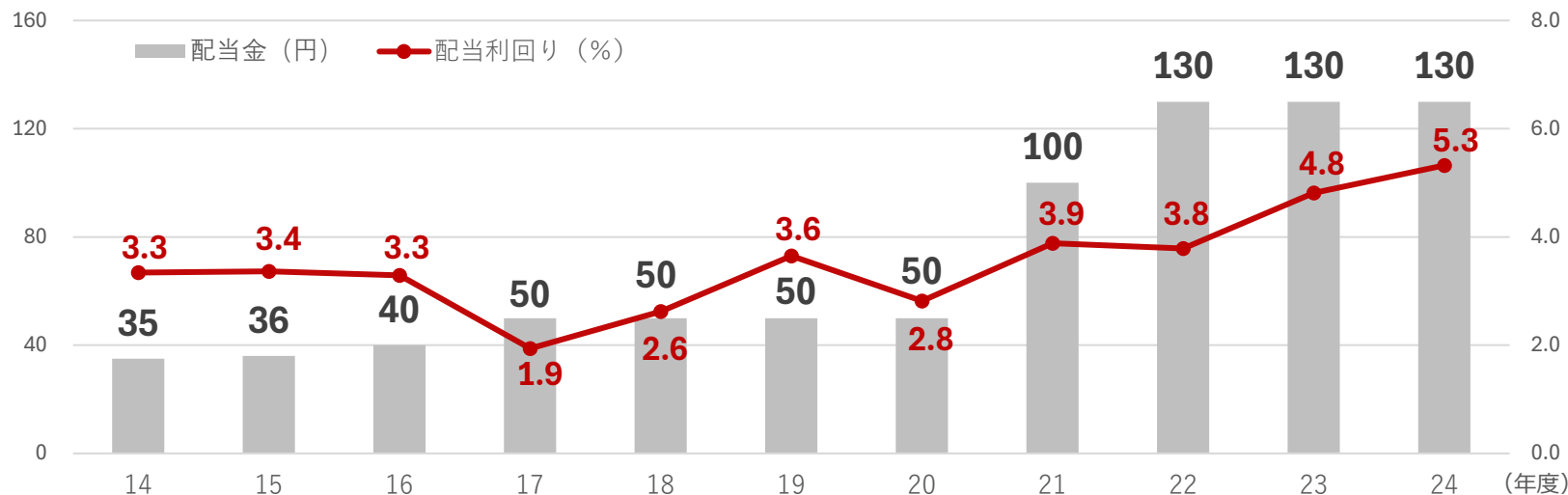
売上高と営業利益率の推移

■ 売上高 ● 営業利益率(%)



■ 成長のために必要な投資は積極的に行いつつ、**安定的な配当を継続**

1株当たり年間配当金・配当利回りの推移



END

安全のDNA

創業

80周年



技術系を対象とした
安全知識レベルと
設計能力を測る
資格※1保有者

578名

※1 セーフティアセッサ、セーフティベークアセッサ、ロボットセーフティアセッサ
※2 セーフティオフィサ

国際標準化活動



20年以上



管理系を対象とした
労働安全マネジメントに
関する知識と遂行能力を
測る資格※2保有者

128名

国内外でトップシェアを誇る製品



制御用操作スイッチ



非常停止用
押ボタンスイッチ



3ポジション
インバールスイッチ



累計出荷台数



約740万台

※2024年度実績(自社調べ)

■ 幅広いコンポーネントを活かした、顧客課題を解決するソリューションの展開

製品単体での
ソリューション

- New HMI / カスタムジョイスティック / キーボード
- レーダセンサ



アプリケーション
に特化した
横展開可能な
パッケージ

- AMRパッケージ / 業界向け特定コントローラ
- 図書館システム



サービスによる
ソリューション

- ロボットリスクアセスメント支援ソフト
- セーフティアセスメント



フルカスタム
ソリューション

- 商品箱詰め装置 / 顧客向けカスタムAMR /
ワンボードパネル
- 制御盤など



■ 単体で顧客の多様な困りごとに対応できる製品

(例えば・・・)

- ✓ 生産現場で使うタブレットに、安全機能を簡単に装着できるセーフティコマンダ
- ✓ 離れた場所から非常停止用押ボタンスイッチを無線で操作する、非常停止アシストシステム
- ✓ 既存のセンサでは正確に検出できなかった対象物を、新たな技術で検出できるミリ波レーダセンサ



セーフティコマンダ



非常停止アシストシステム



ミリ波レーダセンサ

■ 離れた場所から非常停止用押ボタンスイッチを無線で操作する 非常停止アシストシステムの活用例

- AGV（無人搬送車）・AMR（自律走行搬送ロボット）に搭載されている非常停止用押ボタンスイッチは、走行時に押すことが難しく、搬送物によってスイッチが押しづらい状況が発生するため、**離れた場所から安全・安心に停止**



非常停止アシストシステム



■ IDEC ALPS Technologies株式会社で開発した 3Dミリ波レーダセンサの活用例

- 風や雨、埃などの影響を受けず、左右、上下の3D空間で検知可能
建設現場や障害物・死角の多い工場・倉庫で使用される建設機械や、
フォークリフトなどの前方・後方の人・障害物を検知し労働災害を低減
- 屋内・屋外問わず今後増加する工場間搬送やAMRなど、無人走行車
両の障害物検知に活用され、労働力の省人化に貢献
- 浴槽やトイレなどでプライバシーを確保しながら、人の
存在や動き、水面の動きを検知し、意識を失うなど
万一の事故があった際に異常を検知（近日対応予定）

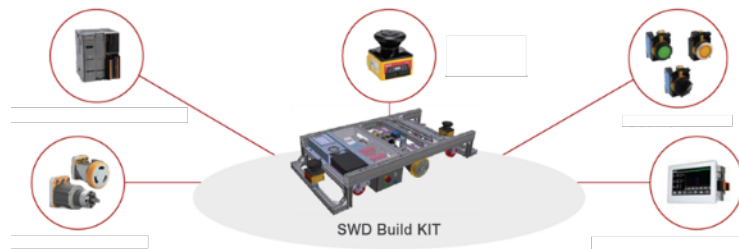


3Dミリ波レーダセンサ



■ 業界向けのAMRソリューション

- 開発工数を短縮し自社用にカスタムできる、HMI・安全機器、ソフトウェアをパッケージ化したAGV・AMR用開発キット「SWD Build KIT」の提供



- 柔軟な輸送ソリューションを構築できるSWDをベースに、自社開発したソリューションソフトウェア「ez-Way」を搭載したAMRソリューションによる、自動車メーカーの搬送工程の自動化



■ 業界向けの搬送ソリューション

- 重量物の搬送工程において、コンベアや人力での搬送を、AWD搭載の電動アシスト台車に置き換えることで、**省力化や、効率性・安全性の向上、作業員の負荷低減によるウェルビーイング向上を実現**
- 自動車メーカー、建設機械メーカーなど、重量物の搬送工程の多い現場で導入事例が増加



■ 多様な業界の顧客ニーズに基づくフルカスタムソリューション

(例えば・・・)

- ✓ APEMのフルカスタムワンボード
- ✓ IDECファクトリーソリューションズの協働ロボットソリューション提案や、米国のUL規格に準拠した制御盤の設計・製作サポート
- ✓ IDEC AUTO-ID SOLUTIONSの自動認識機器を用いた、トレーサビリティシステム
- ✓ 顧客ニーズを踏まえてカスタマイズした、食品工場向けの商品箱詰め装置



APEMのカスタム製品



商品箱詰め装置

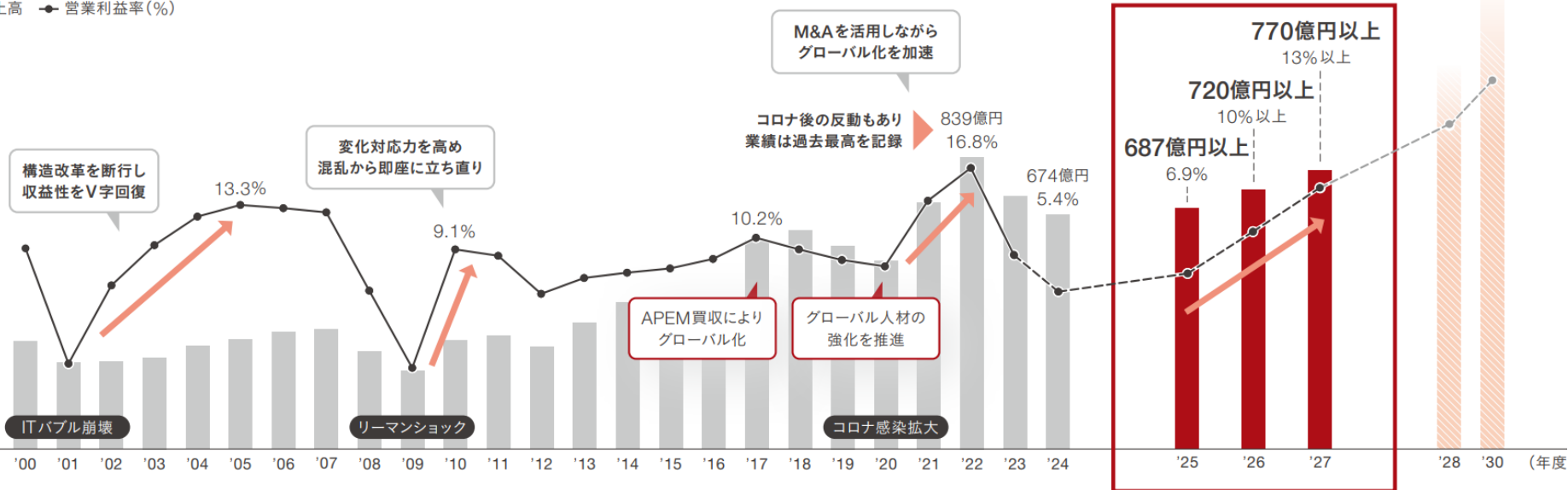
構造改革の取り組み

過去の延長ではない非連続な飛躍によりグローバル企業へ変革

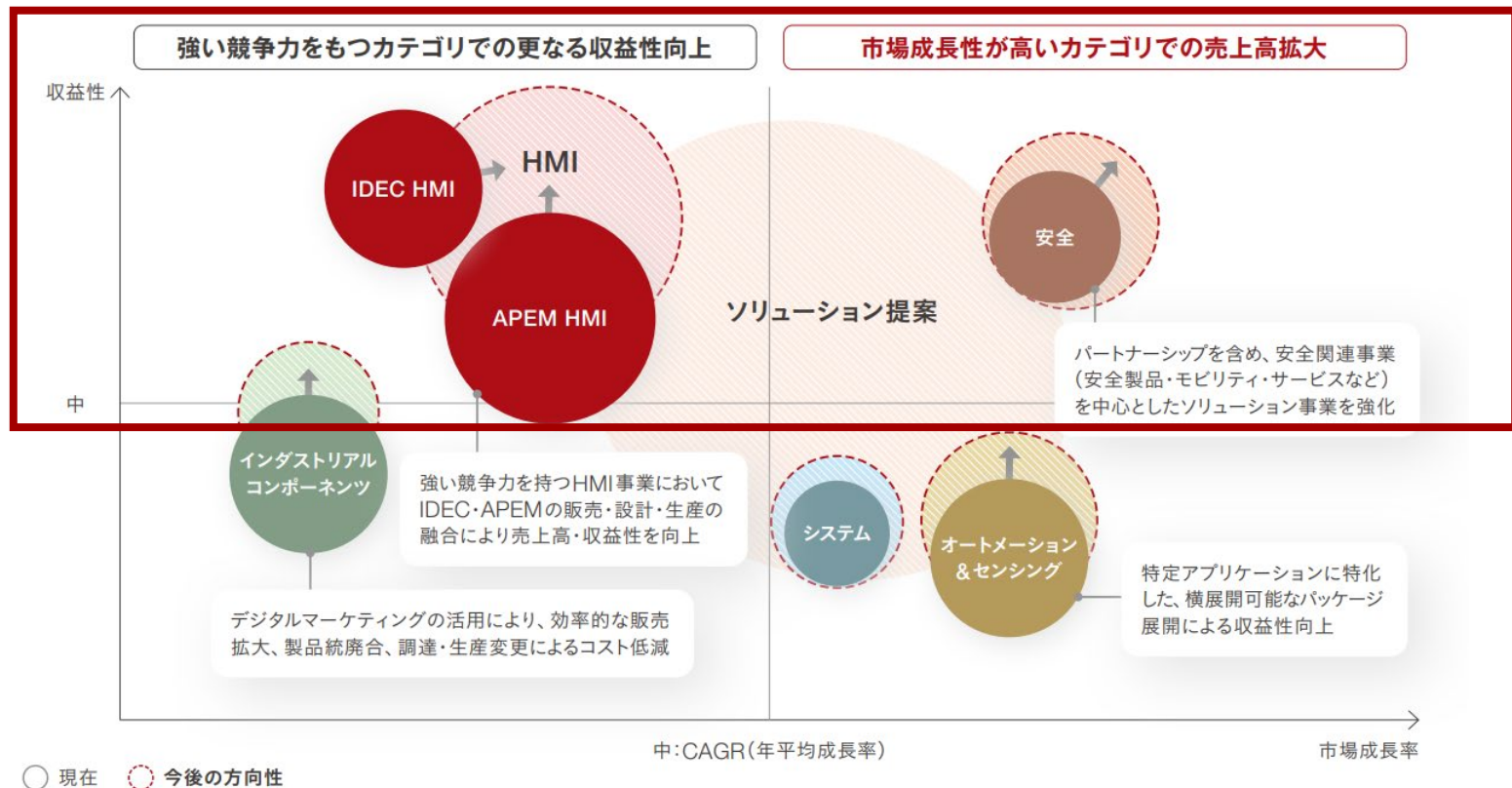
顧客ニーズ対応力を強化し、
高収益体質のグローバル企業へ変革

売上高と営業利益率の推移

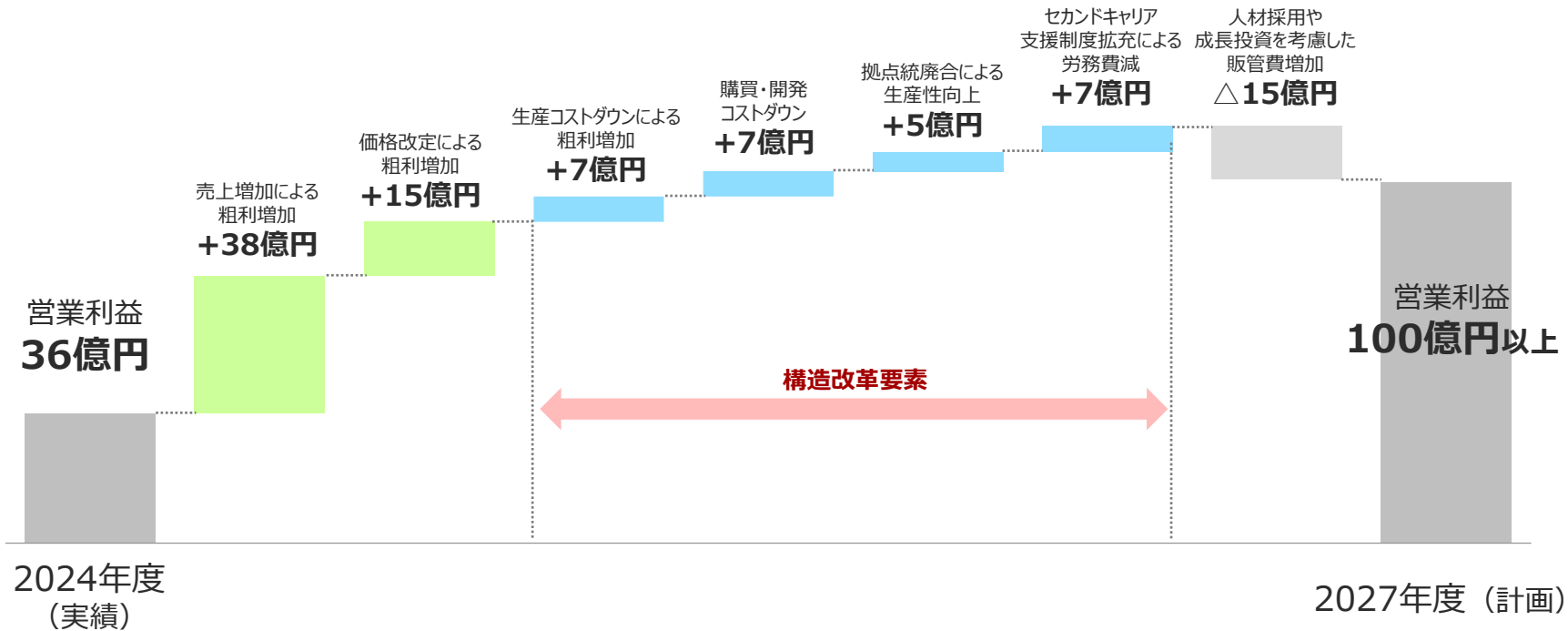
■ 売上高 ● 営業利益率(%)



■ 強い事業の収益性拡大と、市場成長の高いカテゴリでのソリューションを強化

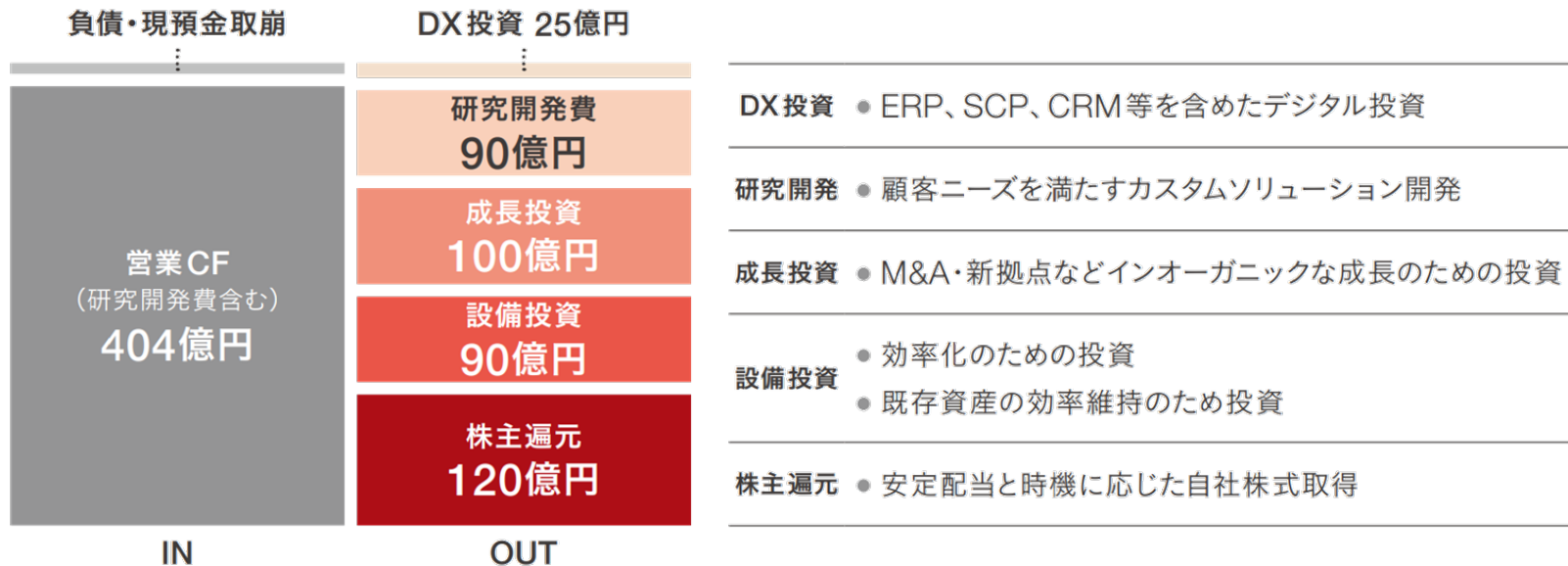


2024年度と2027年度の利益変動想定



- 構造改革を完遂し、成長を実現・加速させながら、資本効率を向上させるための効果的なキャッシュアロケーションを実行

2025-2027年度(中期経営計画)





3年間で進めていく構造改革の施策サマリー



顧客中心の ビジネス構造

グローバル経営体制

- グローバル組織体制の整備
- 業界・顧客ニーズ情報を前提とした製品企画・開発プロセスの刷新

ソリューション

- ソリューションビジネス（ez-Wheel・IDEC ALPS Technologies等）の販売含めた事業推進体制整備

事業・拠点戦略

拠点再編

- 主要3拠点（日本・米国・フランス）を中心としたグローバル開発体制の構築
- 外部活用を前提とした国内生産拠点の集約
- 台湾の電子製品生産拠点としての集約
- 米国新拠点、メキシコ生産拠点立ち上げ、欧州拠点の移管・集約

SCM・購買

- IDEC・APEM含めたグローバル購買推進、サプライチェーンの見直しによるL/Tの短縮

製品・事業

- 不採算製品の製品統廃合・価格の適正化
- ファインバブルや太陽光発電事業の譲渡など、事業ポートフォリオの見直しに伴う事業譲渡・再編

デジタル イノベーション戦略

SCM最適化

- SCPを活用した需給情報・在庫の一元管理による納期・在庫適正化

グローバルITシステム

- ERP、SCP、PLMなどのグローバル展開、セキュリティマネジメント強化
- グローバルでのタレントマネジメント基盤整備

資本戦略

人材適正化

- セカンドキャリア支援制度拡充による国内人材適正化、グローバル人材強化

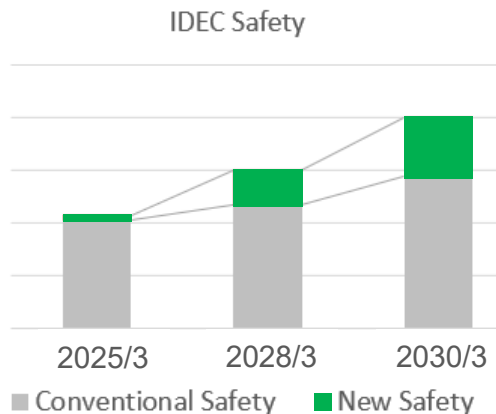
リソースマネジメント

- 資本効率を踏まえたキャッシュアロケーション

「HMI・安全・安心」を軸に、顧客の潜在ニーズに応える製品・サービスを展開し持続的な事業成長を実現

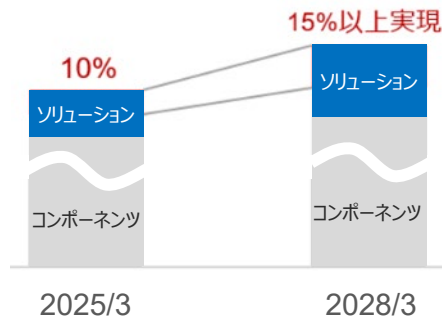
■ 安全・安心コンポーネント・ソリューションによる安全事業拡大

新事業牽引による
1.5倍以上の成長



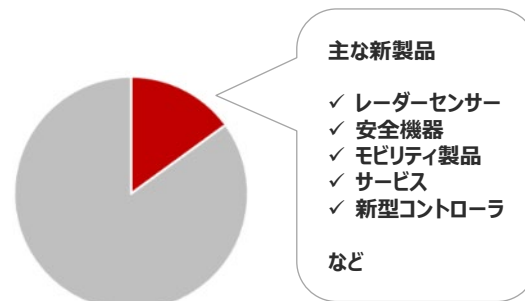
■ 顧客への価値提供を加速するソリューション売上比率の向上

「HMI」と「安全」を中心に
15%以上を実現し、長期的には20%を目指す



■ 「お客さまの付加価値向上」に直結する新製品提供

新製品寄与率**15%以上を実現**



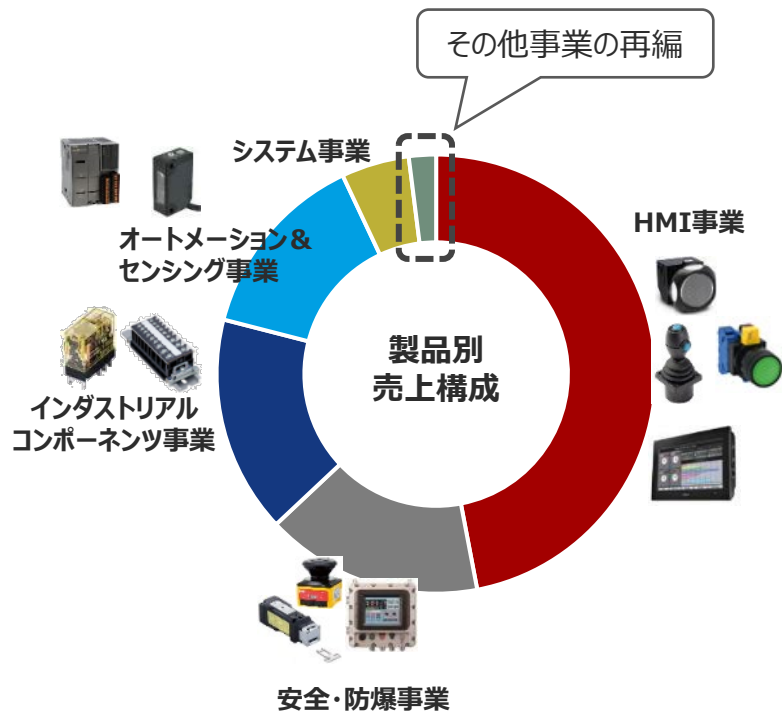
■ 選択と集中を前提とした事業ポートフォリオの見直しの一環として、 IDECグループとしてのノンコア事業の再編

● ファインバブル事業の承継：2024年7月

- ✓ 微細気泡の生成システムなどのファインバブル事業について、収益事業化が困難であり、主力事業とのシナジーも期待できないことから、IFBテクノロジーズ(株)へ事業を承継

● 太陽光発電事業の譲渡：2025年3月末

- ✓ 太陽光発電関連事業を東京がエンジニアリングソリューション(株)へ譲渡し、より強みを活かせる事業に集中特化
- ✓ 特別利益として約12億円を計上



■ 制度拡充の背景

- 社員の働き方や就業意識は急速に変容しており、当社においても、さらなるグローバル化やDXを強力に押し進めており、今までの延長線ではなく「新生IDEC」の創出を推進
- そういった状況の中で、社員の多様化する職業観・ライフプランをサポートするとともに、当社のさらなる発展と、**社員年齢構成の是正を図るなど組織人員の最適化**を考慮し、現状運用している「セカンドキャリア支援制度」について、一定期間、**対象者の拡大・優遇措置を拡充**

制度概要

- (概要) : 通常の退職金に加え、既存のセカンドキャリア支援制度に特別加算
希望者には再就職支援を全額会社負担で実施
- (制度対象) : 一定条件を満たした国内従業員
- (申請期間) : 2024年12月～2025年3月末 (2025年3月・6月退職)
- (実施結果) : **136名**
- (費用計上) : **特別損失 約14億円計上**

- 2025年4月にIDEC・APEMの米国拠点を統合し、新本社が2026年4月に完成予定
- 本社、開発、生産、物流機能はサンディエゴの新本社に集約



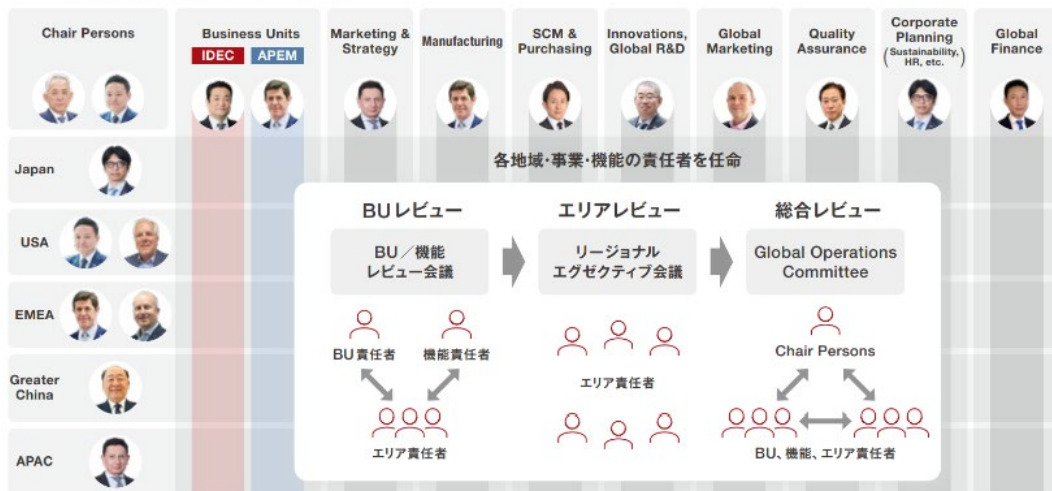
【米国新本社】 カリフォルニア州サンディエゴ

- 延床面積：約21,500 m²
- 建物：2階建て
- 投資額：約100億円程度
- 機能：本社、開発、生産、販売、物流



- 2025年4月に新体制で始動
- **Global Operations Committee (GOC) を設立し、運用を開始**
- **責任を明確化し、月次、四半期の定例会議で情報を共有することで、迅速な意思決定を実現**
- 各地域、機能別の進捗状況や、各種改革プロジェクト、課題の議論などを実施
- 方針をGOCで決定し、経営会議、取締役会に上程

グローバル・マトリックス・マネジメント組織



GOC会議の様子



2026年 3 月期
第 3 四半期

連結業績概要 <連結損益計算書> - 1



(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2025年3月期 3Q累計		2026年3月期 3Q累計		
	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	49,470	100.0%	53,017	100.0%	+ 7.2%
売上総利益	21,396	43.3%	23,605	44.5%	+ 10.3%
販売費及び一般管理費	19,095	38.6%	19,225	36.3%	+ 0.7%
営業利益	2,301	4.7%	4,380	8.3%	+ 90.4%
経常利益	2,367	4.8%	4,913	9.3%	+107.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,616	3.3%	2,886	5.4%	+ 78.6%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	54.84円	—	97.78円	—	+42.94円
米ドル平均レート (円)	152.64円		148.71円		△3.93円
ユーロ平均レート (円)	164.88円		171.83円		+6.95円
人民元平均レート (円)	21.16円		20.77円		△0.39円

連結業績概要 <連結損益計算書> -2

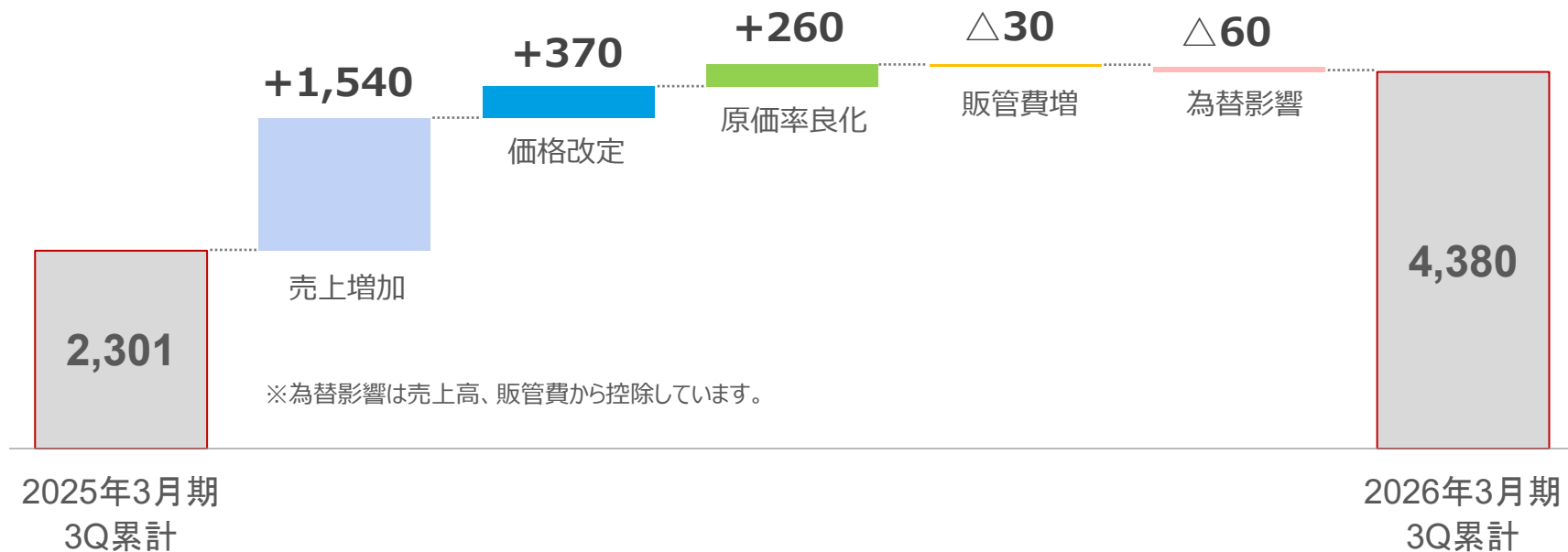


- 収益性の高い日本・米州などの地域や、HMI・安全関連機器の売上が伸長したことなどから、前年同期比で売上、利益ともに大きく改善

(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2025年3月期				2026年3月期						
	3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	16,381	100.0%	17,909	100.0%	15,736	100.0%	18,374	100.0%	18,906	100.0%	+15.4%
売上総利益	7,008	42.8%	8,040	44.9%	6,643	42.2%	8,584	46.7%	8,377	44.3%	+19.5%
販売費及び一般管理費	6,258	38.2%	6,688	37.3%	6,318	40.2%	6,298	34.3%	6,608	35.0%	+ 5.6%
営業利益	750	4.6%	1,351	7.5%	324	2.1%	2,286	12.4%	1,769	9.4%	+135.7%
経常利益	903	5.5%	1,110	6.2%	627	4.0%	2,282	12.4%	2,003	10.6%	+121.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	334	2.0%	162	0.9%	465	3.0%	1,290	7.0%	1,130	6.0%	+238.1%
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	11.34円	-	5.52円	-	15.77円	-	43.71円	-	38.30円	-	+26.96円

米国の追加関税分を販売価格に転嫁したことなども寄与し、売上が増加したことに加え、利益率の高い地域や製品の売上が堅調に推移したことなどから、営業利益は前年同期比で**約20.8億円増加**

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前年 同期比
日本	17,469 (35.3%)	17,940 (33.8%)	+ 2.7%
海外	32,000 (64.7%)	35,076 (66.2%)	+ 9.6%
米州	10,588 (21.4%)	11,706 (22.1%)	+10.6%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	10,832 (21.9%)	11,053 (20.9%)	+ 2.0%
アジア・ パシフィック	10,579 (21.4%)	12,316 (23.2%)	+16.4%
合計	49,470 (100.0%)	53,017 (100.0%)	+ 7.2%

日本 前年同期比 + 2.7%

- 流通在庫の消化とともに、主要産業の需要が徐々に回復し、グループ会社の事業譲渡の影響がある中でも売上は増加

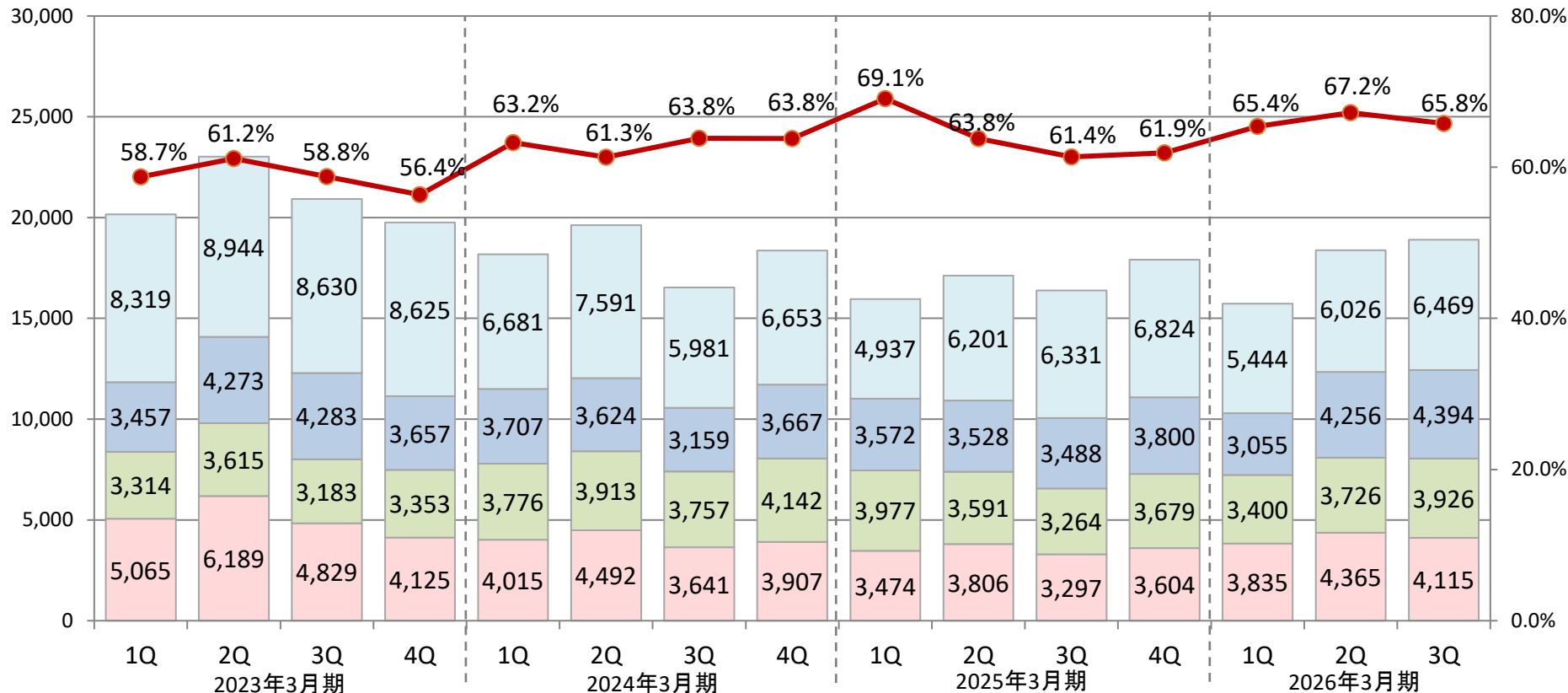
海外 前年同期比 + 9.6%

- 米州では、米国の追加関税分の販売価格への転嫁による影響に加え、第3四半期にかけて受注残の解消も進んだことから、売上が増加
- EMEAは、景気低迷や地政学リスクの影響などにより主要産業の需要が落ち込んだものの、円安の影響により、売上は微増
- アジア・パシフィックは、中国での自動車・半導体業界などの需要拡大や、流通在庫の正常化により、売上が増加

仕向地別売上状況 (四半期推移)

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て

日本 米州 EMEA アジア・パシフィック 海外売上高比率



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2025年3月期 3Q累計	2026年3月期 3Q累計	前年 同期比
HMI事業	23,902 (48.3%)	24,675 (46.5%)	+ 3.2%
インダストリアルコンポーネンツ事業	8,258 (16.7%)	9,456 (17.8%)	+14.5%
オートメーション&センシング事業	6,288 (12.7%)	5,708 (10.8%)	△ 9.2%
安全・防爆事業	7,959 (16.1%)	9,324 (17.6%)	+17.2%
システム	2,425 (4.9%)	3,851 (7.3%)	+58.8%
その他※	635 (1.3%)	—	—
合計	49,470 (100.0%)	53,017 (100.0%)	+ 7.2%

HMI事業

欧州における景気低迷や特殊車両業界の需要減少などの影響はあるものの、流通在庫の正常化に加え、ファクトリーオートメーション向け産業用スイッチの売上が堅調に推移

インダストリアルコンポーネンツ事業

主力のアジア・パシフィックや北米市場において、制御用リレーなどの売上が増加

オートメーション&センシング事業

主力製品であるプログラマブルコントローラは、北米で堅調に伸長し、OEM先の受注も改善傾向にある一方、日本のバーコードリーダの売上減少などが影響し、全体として売上は減少

安全・防爆事業

主力市場の日本やアジア・パシフィック、特に中国における安全関連機器の売上が堅調に推移

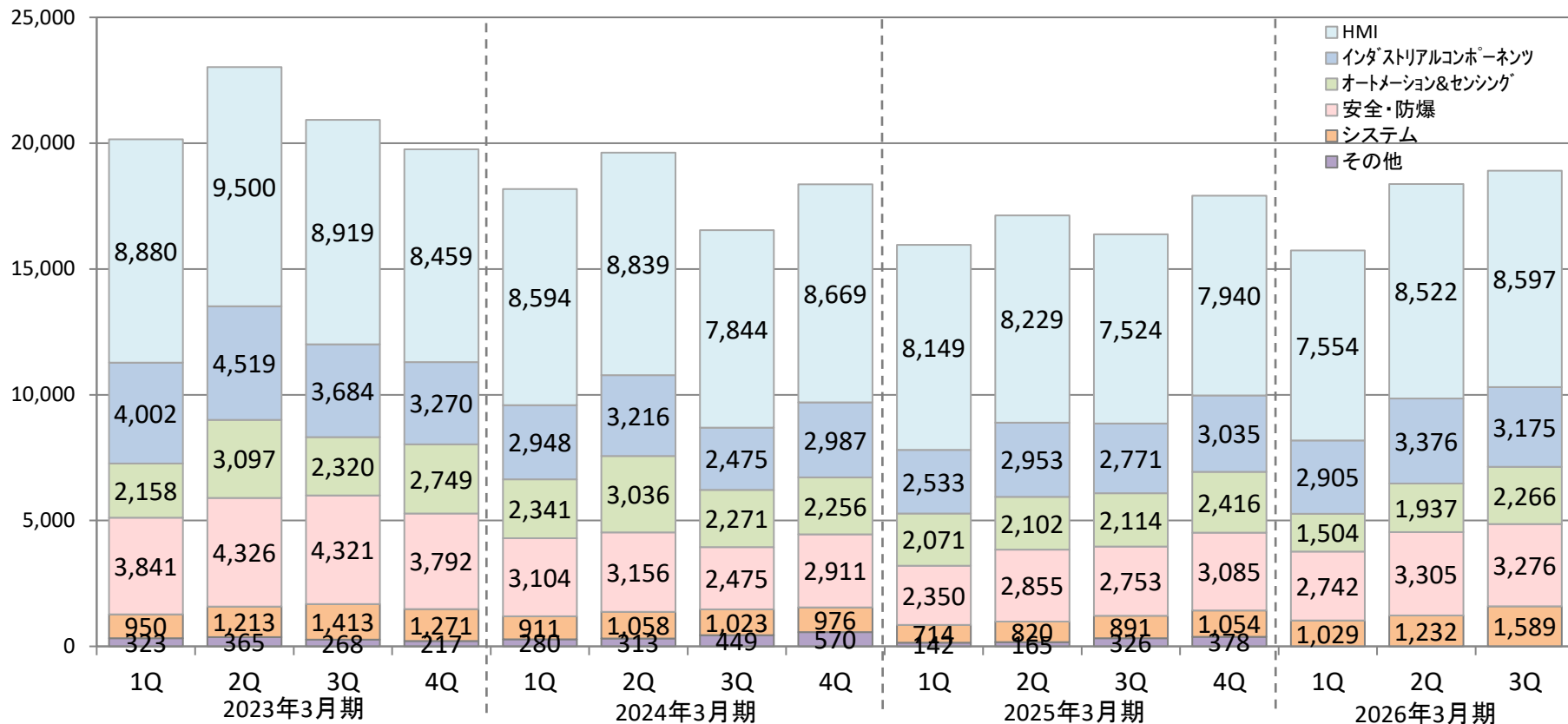
システム

日本、アジア・パシフィックで、半導体製造設備・物流関連設備などの制御盤の売上が増加

※IDECシステムズ&コントロールズ株式会社（太陽光発電事業）の売却等により、2026年3月期から「その他」は廃止

製品別売上状況 (四半期推移)

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2025年3月期 3Q累計		2026年3月期 3Q累計			
	受注高	受注残高	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
日本 (太陽光発電事業を除く)	20,100 (19,316)	6,831	20,038	△ 0.3%	5,627	△17.6%
米州	10,001	2,453	11,813	+18.1%	2,873	+17.1%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	10,649	7,500	11,431	+ 7.4%	7,738	+ 3.2%
アジア・ パシフィック	8,275	2,742	8,880	+ 7.3%	2,665	△ 2.8%
合計	49,027	19,528	52,164	+ 6.4%	18,906	△ 3.2%

受注状況 (四半期推移)

- 日本は、2Q比ではグループ会社で若干の受注減があったものの、流通在庫の正常化もあり回復傾向は継続
- 米州は、APEMブランドの顧客である建設機械やマテハン業界向け需要はまだ回復していないものの、IDECブランドの主要顧客であるファクトリーオートメーション業界向けは堅調に推移
- EMEAは為替の影響もあり改善傾向となっており、アジア・パシフィックは、主に中国の受注が堅調に推移

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2025年3期				2026年3期				2026年3期	
	3Q (10月～12月)		4Q (1月～3月)		1Q (4月～6月)		2Q (7月～9月)		3Q (10月～12月)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日本 (太陽光発電事業を除く)	6,996 (6,685)	6,831	7,535 (6,320)	5,271	6,541	5,985	6,875	6,168	6,621	5,627
米州	3,229	2,453	3,908	2,611	3,557	3,191	3,953	2,929	4,302	2,873
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	3,450	7,500	3,776	7,522	2,989	7,086	3,767	7,072	4,675	7,738
アジア・ パシフィック	2,908	2,742	4,573	4,353	2,421	3,269	3,007	2,591	3,451	2,665
合計	16,584	19,528	19,794	19,758	15,510	19,532	17,604	18,762	19,050	18,906

2026年3月期 連結業績予想

2026年3月期 通期業績予想 ※修正なし



- 第3四半期までの実績は計画を上回る水準で推移しており、第4四半期についても大きなリスク要因はなく、堅調に推移する見込

(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2025年3月期		2026年3月期		
	実績	対売上比	予想	対売上比	前期比
売上高	67,380	100.0%	68,700	100.0%	+ 2.0%
売上総利益	29,437	43.7%	30,460	44.3%	+ 3.5%
販売費及び一般管理費	25,784	38.3%	25,710	37.4%	△ 0.3%
営業利益	3,652	5.4%	4,750	6.9%	+30.0%
経常利益	3,477	5.2%	5,020	7.3%	+44.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,778	2.6%	3,450	5.0%	+93.9%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	60.36円	—	117.06円	—	+56.70円
米ドル平均レート (円)	152.62円		145円		△7.62円
ユーロ平均レート (円)	163.87円		160円		△3.87円
人民元平均レート (円)	21.11円		20.50円		△0.61円

2026年3月期 通期業績予想 ※修正なし



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2025年3月期	2026年3月期	
	実績	予想	前期比
HMI事業	31,842	33,000	+ 3.6%
インダストリアルコンポーネンツ事業	11,294	11,500	+ 1.8%
オートメーション&センシング事業	8,705	8,500	△ 2.4%
安全・防爆事業	11,045	11,500	+ 4.1%
システム	3,479	4,200	+20.7%
その他※	1,013	—	—
合 計	67,380	68,700	+ 2.0%
※IDECシステムズ&コントロールズ株式会社（太陽光発電事業）の売却等により、2026年3月期から「その他」は廃止			
国内売上高	24,294	24,800	+ 2.1%
海外売上高	43,085	43,900	+ 1.9%
(海外比率)	(63.9%)	(63.9%)	

－：横ばい ○：拡大

業界	2027年3月期の見通し（2026年3月期比）	日本	米国	欧州	中国	APAC
工作機械	欧州を除き、各地域で引き続き一定程度の成長が見込まれています。	○	○	－	○	○
半導体	半導体市場はグローバルで力強い成長が見込まれていることから、半導体製造装置も成長が期待されています。	○	○		○	
ロボット	米国や中国を中心に、グローバルで成長が見込まれています。	○	○	－	○	
自動車	米国の関税政策や欧州市場の影響などもあり、成長は限定的と見込んでいます。	－	－	－	－	○
特殊車両	建設機械、マテハン向け装置、防衛関連などは、今後徐々に回復が見込まれています。	－	－	－	－	
AGV・AMR	グローバルで力強い成長が続く見込みです。	○	○	○	○	